



2021年4月5日

各位

会社名 アステラス製薬株式会社  
代表取締役社長 CEO 安川 健司  
(コード: 4503、東証第一部)  
(URL <https://www.astellas.com/jp/>)  
決算期 3月  
問い合わせ先 コーポレート・アドボカシー&リレーション部長  
藤井 郁乃  
(Tel: 03-3244-3201)

## アステラスとトーアエイヨーの販売提携終了について

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)とトーアエイヨー株式会社(本社:東京、代表取締役社長:高橋 敦男、以下「トーアエイヨー」)は、2022年3月31日をもって販売提携契約を終了することに合意しました。この度の合意に基づき、2022年4月1日以降は、トーアエイヨーが日本において製造販売承認を取得し、アステラス製薬に販売委託している虚血性心疾患治療剤「フランドル®錠・テープ」や経皮吸収型・ $\beta_1$ 遮断剤「ビソノ®テープ」など、全18製品について、トーアエイヨーが単独で販売し、医療機関への情報提供活動を行います。

アステラス製薬とトーアエイヨーは、長年にわたって販売提携しています。現在、トーアエイヨーが日本において製造販売承認を取得している大部分の製品について、アステラス製薬が販売、トーアエイヨーが医療機関への情報提供活動を行っていますが、この度、両社で今後の販売方針について協議し、2022年3月31日をもって販売提携を終了することになりました。

アステラス製薬は、製品毎の価値最大化を図るため、経営資源配分の最適化に継続して取り組んでおり、今回の販売提携終了はその一環です。トーアエイヨーは循環器領域のスペシャリティファーマとして、循環器医療の多様なニーズに応えていくにあたり、自社で製品販売体制を構築していくことが必要と判断しました。

アステラス製薬とトーアエイヨーは、該当する製品の安定供給、および製品情報の提供・収集、適正使用の推進に向けた活動が円滑に継続されるよう、緊密に連携して販売移管手続きを進めていきます。

以上

### **アステラス製薬株式会社について**

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+®)の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

### **トーアエイヨーについて**

トーアエイヨー株式会社は、「循環器領域を中心に独創的な新薬を通して人々の健康に寄与する」ことを企業理念に掲げる製薬企業です。虚血性心疾患、不整脈、心不全等の循環器領域及びその周辺領域の新薬や付加価値後発品等の研究開発に取り組み、医療現場で真に必要とされるスペシャリティファーマを目指して、社会に貢献し続けて参ります。トーアエイヨーの詳細については、(<https://www.toaeiyo.co.jp/>)をご覧ください。

### **注意事項(アステラス製薬)**

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。